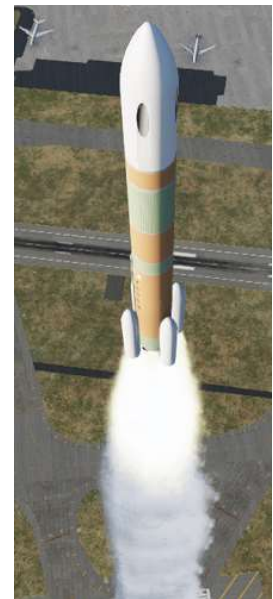


このモデルは JAXA、宇宙航空研究開発機構、の H3 ロケットで打ち上げられる事を想定した想像上の宇宙船です。指定された空港から打ち上げられ高度 120 km の地球周回軌道に入り、自動的に大気圏再突入し指定された着地点に降ります。着地点はデフォルトで富士山山頂に設定されていますが、任意の空港を ICAO コードで指定できます。

宇宙船の現在位置および飛行ルートは **"MAP"** ボタン押下で画面に表示または非表示できます。

宇宙船が地球周回軌道に入ると **"CABIN"** ボタンが現れ、その押下で船内画面や船外画面の切り替えが出来ます。

このモデルは X-Plane 12.3.0 にて動作確認済です。



X-Plane の推奨設定 :

1. "メインメニュー"画面の"気象"設定を"快晴"に設定します。(雲を非表示にする為)
2. 船内画像のブラックアウトを防ぐため、飛行前に"フライトの設定"画面で"ブラックアウト、レッドアウト,低酸素効果のシミュレート"のチェックを外します。

使い方 :

1. 船外画面の視点調整

宇宙船外部の画面の場合は、最初に一回だけ画面をマウスクリックして下さい。その後キーボードの ← → キーで左右方向、↑ ↓ キーで上下方向に視線を移動できます。その他画面右上の部分で、マウスの右ボタンでドラッグして視点移動も出来ます。

2. 着地点の設定

画面上部の **"Airport ID="** 欄をクリックし背景を緑色にします。その欄が緑色になったら着地点の空港の ICAO コードをキー入力し **"Enter"** を押します。



着陸地点までの飛行ルートが世界地図に表示され、着地点は X 印、宇宙船の現在位置は □ で表示されます。なお、地図の表示/非表示は画面左下の **"MAP"** ボタン押下で切り替えられます。

着地点を指定するとその右側に飛行予定時間が表示されます。なお、この飛行時間が 87 分以上の場合は、着地点までの距離が 4,300 Km 以下なので宇宙船は地球を余分に一周しています。

3. 打上げ

"Start" ボタンをクリックし打上げます。ロケットは所定の時間後に地球周回軌道に入ります。打上げ中または地球周回中に画面左上の **"Reset"** ボタンを押すと、ロケットは最初の空港に戻ります。

4. 地球周回軌道上

周回軌道に入ると画面右上に **"Orbiting around the Earth until T="** が表示され、その終了予定時間が表示されます。画面左下には **"CABIN"** ボタンが現れ、その押下で宇宙船の内部画面と外部画面を切り替えることが出来ます。内部画面の場合は、マウスの右ボタン押下でドラックすると視線の方向を変更したり、マウスホイール操作で視点を前後に移動できます。またマウスホイールを押下すると画面の移動が停止します。



5. 地球再突入

目標地点に降下するため宇宙船は自動的に再突入に入ります。画面右上に **"Descending into Earth to touch at T="** が表示され、着地予定時間が表示されます。

注意 1： 使用中は X-Plane 画面のサイズを変更しないで下さい。飛行中に画面サイズを変更すると画面の表示が乱れます。**"Developer"** フォルダの **"Reload the Current Airplane (Skip Art Reload)"** をクリックすると正常に戻ります。



H3 ロケットの情報を公開していただいた JAXA に感謝申し上げます。

このモデルは商用目的では再配布出来ません。またこの機体を修正したものは配布をお断りします。